

CRFシリーズのコンペティションモデルは、50ccから450ccまでがラインアップされており、世界中の若年層からベテラン、またオフロードファンからモトクロス選手に至るまで、多くのお客様に愛用されています。

そのCRFシリーズのトップエンドモデルであるCRF450Rは、2000年に環境に配慮し、それまでの2ストロークエンジンだけでなく、4ストロークエンジンも使用できるよう、モトクロスレースのレギュレーションが改定された事を機に、よりクリーンな性能を備えながら、2ストロークマシン以上のパフォーマンスを発揮する新世代モトクロスマシンとして開発がスタートしました。

2002年モデルとして誕生した初代「CRF450R」は、4ストロークエンジンを搭載したモトクロスコンペティションマシンとして、単にピークパワーのみならず、扱いやすいトルク特性と優れたトラクション性能に注力し開発されました。その後も、2009年モデルに電子制御燃料噴射装置(PGM-FI)の採用など、年々進化を続け、2017年モデルで“ABSOLUTE HOLESHOT”の開発コンセプトの下、フルモデルチェンジを行い、圧倒的な加速／スタート性能を実現しました。

CRF450Rは、世界各地で開催されるモトクロスレースで常に頂点を極めるために、レースで培ってきた技術を毎年量産車へフィードバックをすることで戦闘力の向上を図り、一方で、強力な絶対出力や、高い剛性の車体を持ちながら、いかに扱いやすさを併せ持つかを追求し進化してきました。



■AMA SX



■MXGP

今回、CRFシリーズの最高位で、先進技術を惜しみなく投入し、世界各地のモトクロスレースシーンで活躍している「CRF450R」に対して、限られた人が、限られた場所で楽しむものから解放し、本物のオフロード性能を世界中のより多くの人々に身近に感じ体感していただくために、公道走行を可能とした「CRF450L」を開発いたしました。